

緩和ケア領域における薬物・治療介入に関する多施設前向きレジストリ研究  
Phase-R: Japan Pharmacological Audit study of Safety and Efficacy in Real world

**【悪心嘔吐に対する治療の効果】に関する研究のお知らせ**

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

**研究期間：平成 27 年 4 月 17 日～平成 30 年 3 月 31 日**

**〔研究課題〕**

緩和ケア領域における薬物・治療介入に関する多施設前向きレジストリ研究  
Phase-R: Japan Pharmacological Audit study of Safety and Efficacy in Real world  
**【悪心嘔吐に対する治療の効果】**

**〔研究目的〕**

・本観察研究は、オランザピンの治療効果・有害事象の発現率・重症度を明らかにし、効果・有害事象が生じやすい患者さんを同定することが目的です。

**〔研究意義〕**

・本研究から得られた結果は、悪心嘔吐の改善目的にオランザピンを投与する際の判断材料となり、他の悪心嘔吐に対する治療についての比較試験を行う場合の基礎データとしても利用できます。

**〔対象・研究方法〕**

・対象は悪心・嘔吐に対してオランザピンの定期投与を受ける 18 歳以上の患者さんです。患者さんの臨床情報、検査値、オランザピンの治療効果と有害事象を登録・解析し、悪心嘔吐に対する効果・有害事象の発現率、効果を生じやすい患者さんを明らかにします。

**〔研究機関名〕**

帝京大学医学部附属病院他 14 施設の多施設共同研究です。

**〔個人情報の取り扱い〕**

・症例登録およびデータ収集は、web 経由で行います。患者情報は連結可能匿名化し患者リストは各施設から持ち出しません。本研究では氏名・患者 ID など個人を特定し得る情報は収集しません。

**対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。**

ご協力よろしくお願い申し上げます。

研究責任者：大澤岳史

**問 い 合 わ せ 先**

研究分担者：有賀悦子、黛芽衣子、大野智、久保佳子

住所：〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表) [内線 7425]